

# 随意契約に係る情報の公開

白島石油備蓄(株) 随意契約:7件

令和4年5月30日

契約件名	契約日	契約の相手先の商号 又は名称及び所在地	予定価格 (千円、税抜き)	契約金額 (千円、税抜き)	落札率 (%)	業務(工事)概要	随意契約によることとした理由	その他必要な事項 (非公表の理由、一者 応札・応募の状況)
1 R4年度通船・防災船定期備船	令和4年4月1日	西日本海運株式会社 福岡県北九州市門司区西海岸一丁目4番19号	-	721,500	-	白島国家石油備蓄基地に必要な交通船・防災船及びその乗組員を提供し、当社が別途委託した運行管理実施者の指揮の下、基地操業に必要な通船業務及び海上警備防災業務とそれに付帯する業務を行う。	白島国家石油備蓄基地専用に建造された7隻の通船・防災船を備船するためには、船主と裸備船契約を締結している同社との定期備船契約が必要であることから、当社契約規程第27条(1)「契約の性質または目的から競争によることが適切でない場合」に該当するため、同社と契約を締結したものである。	・次年度以降契約の予定価格を類推される虞があることから予定価格と落札率を公表しない。
2 R4年度警備防災・通船等運航業務	令和4年4月1日	白島テクノサポート株式会社 福岡県北九州市若松区響町一丁目108番地	-	263,900	-	離島の白島国家石油備蓄基地における陸上警備防災業務(警備防災法に定める第1号業務)、乗下船管理物資運搬業務及び通船・防災船の運航管理業務を行い、並びに7隻の通船及び防災船の運航管理実施者(不定期航路事業者)となる。	白島国家石油備蓄基地専用に建造された7隻の通船・防災船を船主から備船するにあたり、同社を運行管理実施者(不定期航路事業者)に使用することが条件となっていることから、当社契約規程第27条(1)「契約の性質または目的から競争によることが適切でない場合」に該当するため、同社と契約を締結したものである。	・次年度以降契約の予定価格を類推される虞があることから予定価格と落札率を公表しない。
3 R4年度基地施設工務援助業務	令和4年4月1日	白島テクノサポート株式会社 福岡県北九州市若松区響町一丁目108番地	-	131,700	-	白島国家石油備蓄基地の施設保全管理を統括する当社工務課業務を援助するものであり、現場施工管理、自主検査業務等を行う。	白島国家石油備蓄基地の施設保全管理は、操業時より、コスト削減及び効率的な業務遂行のため同社との連携体制としている。また、洋上備蓄基地システム及び当基地独自の保全管理技術等に精通している必要があり、これらを満たす者は操業時より本業務に従事する同社に限られることから、当社契約規程第27条(1)「契約の性質または目的から競争によることが適正でない場合」に該当するため、同社と契約を締結したものである。	・次年度以降契約の予定価格を類推される虞があることから予定価格と落札率を公表しない。
4 R4年度原油移送荷役補助等業務	令和4年4月1日	山九株式会社 東京都中央区勝どき六丁目5番23号	-	20,400	-	本業務は、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構の令和4年度油種入替事業等計画に則り、白島三号からの原油払出作業に係る荷役作業準備、原油払出中の貯蔵船とシーバースまたは貯蔵船とシーバース間の安全防災監視等の操油課作業補助を行うほか、泊地内オイルフェンスおよび油回収器の設置・撤去・移設、フレキシブルホース内の残油回収、シーバース残油回収槽の清掃等の付帯作業を実施するものである。	本業務は、原油移送実施時、当該荷役作業および関連作業のうち荷役作業準備、荷役中の安全防災監視等の操油作業の補助業務等を行うもので、荷役作業には不可欠なものである。当基地は、緊急放出指示受領後、14日のリードタイム内に全ての放出準備を完了し、確実に放出体制を立ち上げることが求められており、いつ発生するか判らない緊急放出に備えて、原油移送の関連工事は、原油の緊急放出対応時の体制に組み込むことを前提として選定している。同社は、緊急放出対応時には機構殿の指示期間に、確実に出動することを覚書により確約している。また、緊急時の荷役作業の安全性確保のためには業務習熟が必要であり、継続履行が求められる。同社が持つ機動力は、業務の緊急な変更要求に対しても、要員確保、安全教育および緊急出動に関して即応体制をとることが出来ることから、当社契約規程第27条(1)「契約の性質または目的から競争によることが適切でない場合」に従い、同社と契約を締結したものである。	・次年度以降契約の予定価格を類推される虞があることから予定価格と落札率を公表しない。
5 R4年度サブバースマスター業務	令和4年5月20日	MOLマリン&エンジニアリング株式会社 東京都港区虎ノ門二丁目1番1号	-	16,400	-	独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構の油種入替／基地間転送計画に則り、5月中旬～9月末の間に、白島三号船からフート原油約58万KL(約10万KL×6回(回数は最大回数を想定、修正の可能性あり)の払出しを実施する。	白島国家石油備蓄基地における備蓄原油緊急放出体制は短期間に確立することが必要である為、同基地のサブバースマスター業務に操業時より携わり、同業務に精通し専門性を有した該社を起用する必要がある。また、備蓄原油緊急放出時に確実なサブバースマスター業務を遂行する為には、平常時においても同作業に従事することにより、緊急時における安全性確保及び作業品質維持の為の訓練が不可欠であることから、当社契約規程第27条(1)「契約の性質または目的から競争によることが適切でない場合」に該当する。」等に該当するため、同社と契約をしたものである。	・次年度以降契約の予定価格を類推される虞があることから予定価格と落札率を公表しない。
6 R3年度貯蔵船係留システム検討業務(白島八号)	令和3年12月17日	一般財団法人 沿岸技術研究センター 東京都港区西新橋一丁目14番2号	-	2,700	-	白島石油備蓄基地の貯蔵船全8隻の内、次回泊地内検査工事計画の白島八号について、横防舷材四連状態、当該工事中最浅喫水状態における限界風速を設定することを本業務の目的とする。	白島八号の最浅喫水状態における限界風速の策定等が検討課題であり、船体 動揺シミュレーションの実施に係る諸条件の検討、結果の取り纏めに際し、港湾技術、洋上備蓄基地の防舷材システムに精通している必要があり、同社の技術援助が必要不可欠であるため、従前より連携体制を図っていることから、当社契約規程第27条(1)「契約の性質または目的から競争によることが適正でない場合」に該当するため、同社と契約を締結したものである。	・次年度以降契約の予定価格を類推される虞があることから予定価格と落札率を公表しない。
7 R3年度貯蔵船動揺シミュレーション業務(白島八号)	令和3年12月20日	ジャパン マリンユナイテッド株式会社 神奈川県横浜市西区みなとみらい四丁目4番2号	-	8,900	-	白島石油備蓄基地の貯蔵船全8隻の内、次回泊地内検査工事計画の白島八号について、横防舷材四連状態、当該工事中最浅喫水状態における限界風速を設定するため、必要なシミュレーションを実施し、防舷材の歪み量および反力を算出し限界風速の検討に必要な情報を取りまとめることを本業務の目的とする。	白島八号の最浅喫水状態における限界風速の策定に係る貯蔵船動揺シミュレーション等の実施であり、シミュレーションの実施に際しては造船技術、洋上備蓄基地の防舷材システムに精通し、十分な知見を有する必要がある。当基地貯蔵船の建造会社で専門の計算プログラムを有しており、過去に船体動揺シミュレーションの受注実績が豊富な同社の技術援助が必要不可欠であるため、従前より連携体制を図っていることから、当社契約規程第27条(1)「契約の性質または目的から競争によることが適正でない場合」に該当するため、同社と契約を締結したものである。	・次年度以降契約の予定価格を類推される虞があることから予定価格と落札率を公表しない。